

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健康やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	地域食育推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	近年、食を大切にすることが意識が希薄になり、健全な食生活が失われつつあることから、個人だけでなく地域や社会をあげて食育に取り組み、健全な食生活を実践する人間を育てることが必要となっているため、食育の推進に取り組むもの。 ・地域で健康づくりや食育推進の活動をする高松市食生活改善推進協議会の育成、支援 ・「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等
-------	---

5年度概要	市民の野菜摂取量増加に向けた取組の実施 健全な食生活の実践を促すための食育推進事業の実施 高松市食生活改善推進協議会の支援・育成 「食」の大切さを伝えるフードスタート運動の実施等
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------

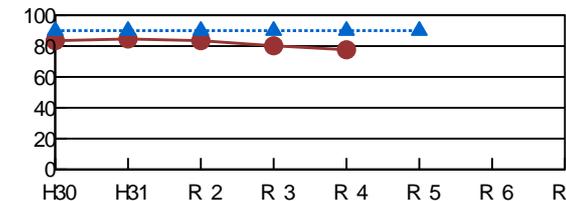
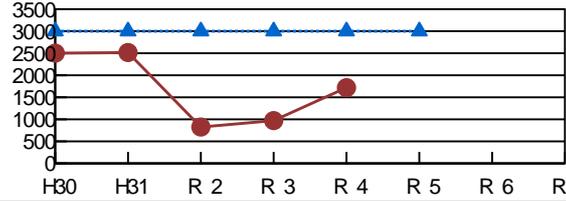
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「食育」への関心度を高め、地域や社会をあげて食育に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
伝達講習会開催回数	回	39	55	117	170	170

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
食育に関心をもつ人の割合	%	目標値	90	90	90	90	90
		実績値	83.5	80.2	77.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響により、食育啓発事業等を縮小せざるを得なかったが、デジタルを活用した新しい啓発を実施する等工夫をしたため、昨年度より減少したが、目標の達成度は86.2%であった。 （目標達成度） 							（達成度） 86.2% 30点
伝達講習会参加者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績値	825	971	1,719		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のような料理講習会の開催はできなかったが、ホームページを活用した食育啓発や、地区の実情にあわせた活動を実施した。目標の57.3%しか達成できなかったが、昨年度より増加した。 （目標達成度） 							（達成度） 57.3% 20点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[千円]	28,818	29,161	28,320	29,075
（事業費）	[千円]	1,135	1,226	1,378	2,133
（職員人件費）	[千円]	27,683	27,935	26,942	26,942

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での食育啓発事業等を縮小せざるを得なかったが、そのなかで、デジタルを活用した食育啓発等を実施し、コロナ禍においても工夫しながら食育啓発の推進に寄与したが、更なる取組が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

目標値の達成に向け、より一層の啓発・周知等、効果的かつ広域的な取組を実施していく。

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	自殺対策推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

自殺者数は減少傾向にあるが、依然として高い水準にあるため、自殺予防対策として、自殺の背景や原因の多くを占める健康問題、特にうつ病の理解のため、自殺予防の講演会などの開催や自殺予防についてリーフレットを配布するなど広く市民に啓発を行う。また、庁内連絡会の開催や職員研修の実施及び相談業務に従事する保健師等の人材育成を図るため、研修会を実施し、相談技術のスキルアップを図る。ひきこもり対策を推進するため、ひきこもり状態の方及び家族等の福祉の増進を図ることを目的にひきこもりサポーター派遣事業を実施する。

5年度概要
 ・若者支援事業
 ・自殺予防相談支援事業
 ・自殺対策職員養成研修（庁内連絡会、相談従事者研修、職員研修会）
 ・うつ病家族教室
 ・地域・職域啓発事業

重点取組事業	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）
--------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民の心の健康や自殺についての関心を高め、心の不調に気づき、ゲートキーパーの役割が担える人を増やす。また、生活習慣と抑うつ度の関係について、特に関係の深い休養やアルコールなどについて啓発を行う。自殺の増加を防ぐ。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
啓発活動の実施回数	回	62	341	223	150	150
ひきこもりサポーター派遣回数	回	6	26	22	30	30

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
健康教育の参加者数	人	目標値	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700
		実績値	1,302	1,489	1,634		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の長期化により、こころの健康・休養・睡眠・飲酒及びゲートキーパーについての対面での健康教育の参加人数については、低迷している。しかし、新たな試みとしてスポーツ振興課と協働し、ゲートキーパー啓発動画を作成・配信を行った結果一定の成果を得られた。		（目標達成度）					（達成度） 34.8%
							12点
支援人数	人	目標値	6	6	6	6	10
		実績値	6	6	6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） ひきこもり家族会であるKHJ香川県オーロプの会等と連携を図って取り組んだ。結果、6人を支援することができたため、目標値を達成できた。		（目標達成度）					（達成度） 100.0%
							35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	25,499	25,560	25,606	26,532
（事業費）	〔円〕	4,549	4,420	4,651	5,577
（職員人件費）	〔円〕	20,950	21,140	20,955	20,955

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の長期化の影響で、地域や職域で健康教育や対面での啓発事業を実施する機会の減少が続いたため、令和3年度に作成したゲートキーパー啓発動画の視聴をPRし一定の成果を得た。
 また、自殺予防や相談対応の知識・技術等の向上を図るため、職員及び相談従事者研修を令和3年度同様、リモートで実施する等の工夫を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

「高松市自殺対策計画」の第2期策定に向け、高松市全体で自殺対策を推進していく。健康づくり推進課ではゲートキーパー、睡眠、アルコール・ゲーム・ギャンブル依存症についての啓発や若年層への啓発を重点的に行う。また、ひきこもりに関しても、関係機関との連携を図るとともに、様々なサポーターを活用し派遣事業の幅を広げていく。

令和 5年度（4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	地域保健推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要
 地区組織の高松市保健委員会連絡協議会に対し、運営助成を行うなど、密接に連携を図りながら、地域に密着したきめ細やかな保健活動を推進する。「高松市民健康の日」に健康都市推進ビジョンの啓発を行い、健康づくりの意識啓発を行う。また、市民献血の推進と献血思想の普及啓発を行う。また、地域及び企業等に健康運動指導士等を派遣して運動教室を開催する。

5年度概要
 保健委員会連絡協議会に対し補助金を交付し、研修会・ブロック会の開催、保健委員会だよりを発行し、健康づくりを主体的に取り組んでいくよう支援する。健康都市推進のため、組織を通じて健康づくりを支援する。また、地域及び企業等に健康運動指導士を派遣して運動教室を開催する。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象（何を）	市内の地区保健委員
意図（どのような状態にしたいか）	地域保健組織の活性化を図り、地域での主体的な健康づくりを推進する。 市民に献血思想を普及する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
研修会・ブロック会開催回数	回	166	149	245	320	320

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
講演会等参加者数	人	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績値	786	576	1,074		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） コロナ禍であったが、講演会等は感染対策を講じながら、ほぼ計画通り実施することができた。しかし、感染対策による規模縮小や人数制限等によりコロナ発生前に比べると参加人数は減少しているが、前年度より増加している。 (目標達成度)						(達成度) 67.1% 23点	
講演会等参加者満足度	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	96.7	84	89.6		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） アンケートを実施した講演会等による満足度を平均すると89.6%であった。実施したWebエクササイズにおいては満足度が75%と低かった。低い理由は、主にWebに慣れていないことやもっと回数を多くしてほしい等であり、内容については概ね高い評価であった。 (目標達成度)						(達成度) 89.6% 31点	

【コストの推移】

指標名	単位	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,237	7,219	7,507	7,832
(事業費)	[円]	1,251	1,179	1,520	1,845
(職員人件費)	[円]	5,986	6,040	5,987	5,987

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

地域及び企業・事業所等の職域に対して健康運動指導士等を派遣する運動教室を実施し、1,074人の参加があった。新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前と比べると参加人数は減少したが、参加者の満足度は高く好評を得た。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

保健委員会組織に対して、地域で、より主体的な事業展開ができるように働きかけていく。また、地域や企業等に健康運動指導士等を派遣し、運動教室を開催することにより、運動するきっかけを作り健康づくりを推進していく。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	保健活動事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民の健康づくりのため、保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。		
5年度概要	保健師等が訪問指導・健康相談・事務所相談・健康診査・健康教育・地区組織活動などを実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	高松市民
意図(どのような状態にしたいか)	生涯を通じた市民の主体的な健康づくりを促す 健康寿命の延伸

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
保健師活動時間	時間	99,754	102,444	97,488	103,000	103,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	参加者の満足度	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	96.7	96	89.6		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 保健事業の参加者の満足度は平均89.6%であった。保健事業の一つであるWebエクササイズが75%と低かったが、その理由はWebに慣れていないことや回数を増やしてほしい等であり、内容については概ね高い評価であった。今後も市民のニーズを踏まえて実施内容を検討し、事業を実施していきたい。	(目標達成度)						(達成度) 89.6% 31点
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	157,051	163,876	160,504	163,270
(事業費)	[円]	17,138	22,691	20,553	23,319
(職員人件費)	[円]	139,913	141,185	139,951	139,951

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

保健師の活動時間の83.9%は家庭訪問及び健康相談等の現場業務であった。前期は新型コロナウイルス感染症対応に時間を多く費やしたが、後期は徐々にコロナ禍前の活動に戻りつつある。今後、感染状況等をみながらサービス低下にならないよう対応していく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地域コミュニティ協議会及び地区保健委員会と協働して事業を実施し、より効果的な活動体制を検討する必要がある。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	精神保健福祉普及啓発・相談事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	ストレスの多い現代に、こころの病気や治療などについて、こころの健康の正しい知識と理解、対応が求められているため、広く市民に啓発を行うとともに相談事業を実施する。				
5年度概要	こころの健康についての啓発として、「こころの健康セミナー」（統合失調症・ネット依存・思春期・うつ病・社会不安障害・発達障害）、「アルコールセミナー」等を開催し、家族教室として、「統合失調症家族教室」を開催する。また、こころの病気（アルコール・薬物、ひきこもり等の健康相談に電話及び来所、家庭訪問で応じる。				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）		

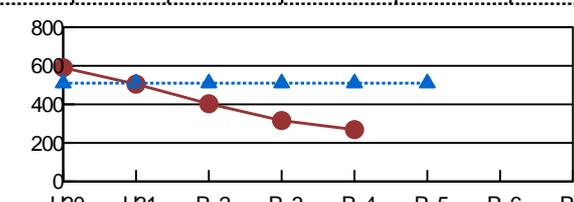
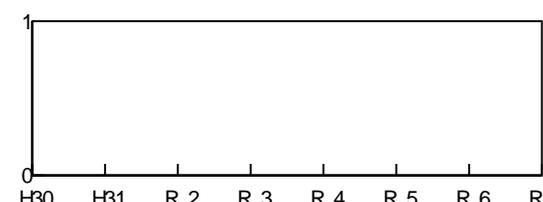
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	市民に対して、心の健康についての正しい知識や理解、対応を学んでもらうために啓発事業を実施する。家族教室として、統合失調症の方を持つ家族の方々が正しい知識と対応を学ぶために実施する。こころの健康相談を実施し、相談者の支援を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
啓発事業・家族教室の開催回数	回	23	18	23	24	24

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
啓発事業・家族教室の参加者数	人	目標値	510	510	510	510	510
		実績値	403	316	269		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、予定どおり教室を実施できたため開催回数は目標値にほぼ近づけたが、参加者数は新型コロナウイルス感染状況により依然少なく、目標値を下回った。 							(達成度) 52.7% 18点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	25,794	22,998	22,799	421
（事業費）	[円]	3,348	348	347	421
（職員人件費）	[円]	22,446	22,650	22,452	0

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
新型コロナ感染症予防対策を講じながら、予定どおり実施できた。課題としては、教室及びセミナーのテーマや内容の充実と、広報たかまつ等の周知方法を確保。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
こころの健康セミナーの内容に、依存症対策として、アルコール・ゲーム障害に加えて、新たにギャンブル障害についての周知啓発の取組を競輪場で実施予定。また、統合失調症家族教室の一部を家族会と合同開催し、集客数の増加を見込む。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	精神障害者社会復帰支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

地域で生活している精神障害者は、偏見や病状のため孤立しやすく、社会復帰施設の整備も十分でないため、安心して暮らすことが難しい現状がある。このため、デイケアや当事者のための生活スキルアップセミナーにより、社会参加を促し、病気のつきあい方などを学び、再発を防止、安心して暮らせるスキルを身につけるためのグループ活動を実施する。また、障害者を支えている家族が活発に活動することで、作業所などの社会資源の開発や病気の再発防止に繋がるため、家族会の運営補助を行う。

5年度概要
 デイケア及び当事者のための生活スキルアップセミナーを実施することにより、精神障害者の自立を促進する。また、精神障害者家族会に対して、事業の補助を行い、支援する。

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	在宅の精神障害者で自立支援医療の受給者
意図(どのような状態にしたいか)	地域で生活する精神障害者が、デイケアなどに参加することで地域で孤立せず、心の安定を図り、生活の幅をひろげ社会参加を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
デイケア実施回数	回	48	28	43		72

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
成果指標	デイケア参加者延べ数	人	目標値	710	710	710	710	710	
			実績値	320	236	369			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、開催予定の9割以上が実施できた。参加者数については、前年から大幅に回復した。数値目標にとらわれず、今後の取組の検討と事業の充実を図りたい。 								(達成度) 52.0% 18点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5	
			目標値						
			実績値						
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)								(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	4,777	7,762	7,265	7,946
(事業費)	[円]	288	3,232	2,775	3,456
(職員人件費)	[円]	4,489	4,530	4,490	4,490

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

「高松市デイケア実施要綱」に基づき、年度初めに更新手続きを実施することで新規利用者につながる体験利用・新規登録者が1名、卒業した者が3名(うち就労理由2名)と参加者のうち、一定数新陳代謝が図れた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

デイケアは、当事者の社会参加促進のため、毎回の参加を促し、様々なプログラムを体験できるよう働きかける。またプログラム内容には参加者の希望や意見により、疾患についての講義や就労、生活に関する内容と交流会を行う。

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	難病患者地域支援ネットワーク事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	病気が原因が不明で治療法が確立していない難病患者やその家族に対して、関係機関との連携を図り、様々なニーズに応じた相談・支援を行う事で、患者・家族の生活の質の向上・精神的負担軽減を図る。		
5年度概要	訪問依頼のある難病患者への保健師・医療機関専門職の個別相談事業 難病医療相談会・交流会の開催 難病患者を支える専門職の研修会の開催		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

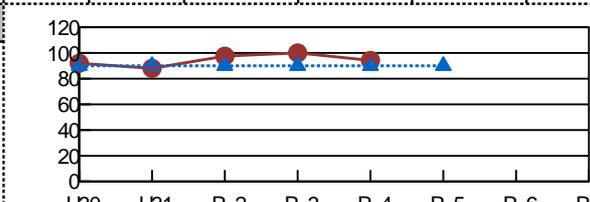
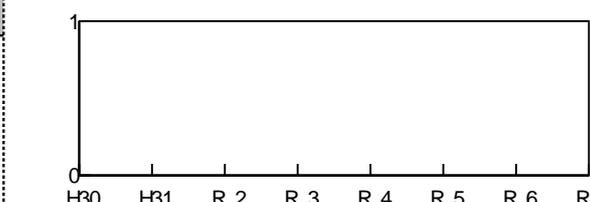
【事業の目的】

対象(何を)	難病患者とその家族 難病患者関係機関
意図(どのような状態にしたいか)	適切な支援を行うことにより、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上を図るとともに、地域の医療機関等の連携により生活の場を整備する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
難病訪問相談指導延べ回数	回	522	641	672	820	820
難病講演会・相談会・交流会開催回数	回	2	3	4	6	6

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
事業参加者満足度	%	目標値	90	90	90	90	90
		実績値	97.5	100	94.2		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 難病医療相談事業として「ブラダー・ウィリ症候群について」、「膠原病との付き合い方」及び「パーキンソン病 運動のすすめ」のテーマで実施した。相談員育成事業として「在宅難病患者を支える患者の支援」のテーマで実施した。アンケートの結果、参加者の満足度は94.2%であった。	(目標達成度)						(達成度) 104.7%
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	(目標達成度)						(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[千円]	8,360	8,462	8,431	8,492
(事業費)	[千円]	130	157	199	260
(職員人件費)	[千円]	8,230	8,305	8,232	8,232

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

難病患者の支援については、患者及び家族の希望や医療機関からの連絡により対応し、関係機関が連携して必要なサービス利用につなげている。困難事例については、事例検討を開催して関係機関と連携強化を図り、支援につなげた。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

難病患者及び家族のニーズを把握し、訪問相談を行うとともに、講演会や相談会、交流会を開催する。また、在宅患者を支える保健師等支援者の研修会を開催する。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	健康づくり推進課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2363
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	8020（歯科保健）推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的とした8020運動推進の一環として、妊娠期～乳幼児期～成人期～老年期を通じ、それぞれのライフステージに応じた歯科保健事業を実施する。		
5年度概要	妊産婦および成人歯科健診を市歯科医師会等と委託契約し、実施する。妊産婦歯科健康診査受診票は妊娠届出時に交付する。また、歯の健康について啓発をする。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	「生涯を通じた歯の健康づくり」を図ることを目的として、あらゆるライフステージにおいて、継続して歯科保健への意識を高める。 家庭での口腔管理（セルフケア）が実施できるようになる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
幼児歯科健康診査対象者数	人	3,394	3,314	3,231	3,700	3,700

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
成果指標	幼児歯科健康診査受診者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
			実績値	1,940	2,206	2,073		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標に達している。 (目標達成度)							(達成度) 188.5%
								35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R2	R3	R4	R5	中期目標 R5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	0	0	0	0
（事業費）	[円]				
（職員人件費）	[円]	0	0	0	0

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 新型コロナウイルス感染症の影響により、集団に対する健康教育・健康相談の一部が中止となった。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 健康無関心層対策の一環としても、働く世代層をターゲットとした歯と口の健康の保持増進として、歯科医師・歯科衛生士の歯科出前講座を事業所で実施する。成人歯科健診の受診の啓発を継続する。			

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	健康で元気に暮らせる環境づくり		課(室)名	保健医療政策課
	施策	健康づくりの推進		電話番号	087-839-2860
	基本事業	健康づくりの普及啓発と生活習慣の改善		事業実施主体	市
	事務事業	骨髄等移植ドナー支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	骨髄・末梢血幹細胞提供者の増加、及び骨髄等移植の推進を図ることを目的として、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供に要した費用の一部に相当する額を助成する。
-------	---

5年度概要	ドナー及びドナーが勤務している事業所への助成（ いずれも市内に住所等を有し、かつ市税を滞納していないなどの要件を満たしている場合に限る。）
-------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	20歳以上55歳以下の市民
意図（どのような状態にしたいか）	骨髄等を提供する者の増加及び多くの骨髄等移植の実現を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
ドナーへの助成件数	件	4	1	2	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	1,244	855	1,048	1,548
（事業費）	[円]	496	100	300	800
（職員人件費）	[円]	748	755	748	748

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

ドナーに対する助成件数 2件 事業所に対する助成件数 2件

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

今後とも、助成制度についての周知及びドナーの登録についての啓発に努め、登録者の増加を図る。